

地区内14の全分区のIMでラビンドランRI会長のテーマである [Be a gift to the world] の解釈、私の地区行動目標である「原点を知り、考える」の意味、また地区の活動方針をお伝えしたいと思います。

また、地区方針の一つである「ロータリーをやさしく理解する」の具体的な事も話をさせて頂きます。

ロータリーをやさしく理解する

「ロータリーは難しく理解できない」という言葉をよく聞きます。これがロータリーへの熱意や興味を減少させ、やがてはロータリー離れに繋がるのではないのでしょうか。そこでまず第一歩としてロータリーをやさしく理解する事から入ることが有効だと考えます。その後徐々に理解や意識を高めて行けばロータリーに対する尽きる事のない興味が増えます。これが活性化に繋がっていきます。

目指すところ

私の究極の目標は、ガバナー候補を沢山作る事、ガバナーになる人を増やす事にあります。これは我が地区の慣習、ガバナー選出の制度、地区の意識、クラブの意識、会員の意識などの全ての事がその方向に向かなくてはなりません。その一環として、ガバナーが出来る事をやって行こうと考えております。地区方針、地区組織、地区予算の全てにその意向を盛り込みました。そして一番重要な要素は会員の皆様の意識の活性化です。このIMを活性化を促す機会と捉えさせていただきます。ガバナー候補が多く出る為には地区が活性化するという要因・原因が必要であり、ガバナー候補が安定して続く事が地区が活性化する結果をもたらすと信じます。

各クラブへのガバナー公式訪問

このIMでの私の話を着にして各クラブ公式訪問で意見交換をさせていただきます。ガバナーが言う事を聞く会ではなく意見交換です。それが地区内のロータリー意識の更なる活性化に繋がって欲しいと願います。

よろしくお願ひします

三大セミナー … IM … ガバナー公式訪問 の一連の中のIMです。この機会が皆様にとって少しでも有為な時間となる事を希んでおります。宜しくお願ひ致します。



国際ロータリー第2790地区第12分区

松戸北ロータリークラブ



世界へのプレゼントになろう

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第2069回 第12分区5クラブ合同例会  
インターシティ・ミーティング 2015年7月29日(水)

- 国際ロータリー会長 K.R. ラビンドラン
- 第2790地区ガバナー 櫻木英一郎
- 第12分区ガバナー補佐 杉浦 昌則
- 松戸北ロータリークラブ会長 小澤 盛明
- 松戸北ロータリークラブ幹事 高崎 卓哉
- 例会日 - 毎週火曜日12:30より (第1例会18:30)
- 例会場 - 松戸商工会議所5F 大会議室
- 事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイム101
- TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910
- Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp



世界への  
プレゼントになろう

### <第1部 第12分区5クラブ合同例会>

	司会	松戸西RC幹事	松尾 雄二
12:30	点鐘	松戸西RC会長	細田 昌男
	国歌並びにロータリーソング【♪奉仕の理想】斉唱		
	来賓紹介	松戸西RC幹事	松尾 雄二
	第12分区会長 幹事紹介	松戸西RC幹事	松尾 雄二
	ホストクラブ会長挨拶	松戸西RC会長	細田 昌男
	幹事報告	松戸西RC幹事	松尾 雄二
	ニコニコ発表	松戸西RC幹事	松尾 雄二
12:50	点鐘	松戸西RC会長	細田 昌男

### <第2部 インターシティ・ミーティング>

	司会	ガバナー補佐幹事	関口 貴之
12:50	点鐘	ガバナー補佐	杉浦 昌則
	第12分区ガバナー補佐挨拶	ガバナー補佐	杉浦 昌則
	来賓ご挨拶	第2790地区パストガバナー	土屋 亮平様
		第2790地区パストガバナー	石井亮太郎様
13:20	基調講演「ロータリーをやさしく理解する」	国際ロータリー第2790地区ガバナー	櫻木栄一郎様
14:50	第2790地区PJ委員会PRタイム	職業奉仕委員会	中村 俊人様
		社会奉仕委員会	根本 孝英様
		国際奉仕委員会	梅原 佐一様
15:05	感謝状贈呈並びに直前ガバナー補佐ご挨拶	直前ガバナー補佐	高崎 信昭様
	次年度ガバナー補佐ご挨拶	松戸RC	小倉 純夫様
	次年度ホストクラブ会長ご挨拶	松戸RC会長エレクト	織田 信幸様
	閉会挨拶	松戸西RC会長エレクト	中村 文典
15:20	点鐘	ガバナー補佐	杉浦 昌則

<基調講演：国際ロータリー第2790地区ガバナー 櫻木栄一郎様>

「ロータリーをやさしく理解する」



始めに

この度はロータリー年度が始まって間もなくというお忙しい時期に全分区にIMを開催するようにお願いいたしました。ガバナー補佐の皆様、主幹クラブ、そして分区内の各クラブの方々には大変ご負担が多かった事と存じます。このような状況にも拘らずこのIMを敢行する事に同意して頂いた各クラブの皆様、準備をして頂いたガバナー補佐、主幹クラブの皆様に厚くお礼申し上げます。

特にガバナー補佐の皆様へ

ガバナー補佐就任が決まった時からIMについてのそれぞれのお考えや抱負があった事と存じます。また分区ごとの慣例もある事と存じます。これを考えた時にこの時期にこういう形でのIMをお願いすることに大きな逡巡もありました。

しかし、私のガバナーとしての想いを分区内のクラブ会員に伝えるという希望をご理解下さり、ご自分のお考えに優先してこのIMを開催して下さったことに深く感謝申し上げます。

ロータリーの年度

ロータリーの毎年は、その前々年度のガバナーノミニーが7月1日にガバナーエレクト（GE）という称号を得て自らがガバナーとして活動する為の具体的な計画を立案する事に始まります。GE年度の9月、11月にはガバナーエレクト研修セミナー（GETS）でガバナーの基礎勉強をし、年が明けた1月にはサンディエゴでの国際協議会に参加する事が必須条件です。

このサンディエゴでの国際協議会で自らの年度のRI会長（今年度はラビンドラン氏）のRIテーマや方針を学びます。

三大セミナー

それを地区に持ち帰って地区内に周知するのがGEの役目です。併せて自らの地区運営方針も皆様にお伝えします。

その方法は、第1番目に地区チーム研修セミナーで次年度の地区役員や各委員会にお伝えします。第2番目に会長エレクト研修セミナー（PETS）で次年度のクラブ会長さんにお伝えします。第3番目に地区研修・協議会で各クラブの主要委員長さんにお伝えします。このように徐々に伝える相手を細分化してゆく、いわゆる三大セミナーと呼ばれる一連のセミナーです。

この時期にIMの開催をお願いした理由

私はこの三大セミナーに続いて、更に地区内の各会員の皆様にもRI会長方針、地区運営方針、そして私のロータリーに対する考え方を直接お伝えする機会としてIMをお願いしました。